

## 第47回総会および千葉県学校薬剤師研修会 参加報告

千葉県学校薬剤師会  
常任委員 宮代和幸

令和元年6月2日(日)、千葉県薬剤師会会議室にて88名の先生に出席いただき第47回千葉県学校薬剤師会総会が開催されました。総会后、千葉県薬剤師会連盟の早川幹事長より薬価及び保険点数は、国会で決まる為に私達の仲間を国会議員にする重要性の話がありました。

研修会では、東京薬科大学薬学部社会薬学研究室教授の北垣邦彦先生より「学校薬剤師活動から考えるこれからの薬局ビジョン」と題してご講演いただきました。

ここ20年で薬剤師が10万人増えており、病院薬剤師は、院外処方になった事で調剤業務から対人や副作用・服用状況の確認業務へ移行しました。一方、薬局薬剤師は、医薬分業になった事で処方箋が増え通常業務量が増加しました。このことにより、薬局では調剤ロボットや監査システムの普及や事務員によるピッキング解禁により、薬局薬剤師も対人や副作用や服用状況の確認業務に移行していく事になると考えられます。

地域に根ざした薬局・薬剤師として、かかりつけ薬剤師や地域住民の健康サポートや学校薬剤師活動やスポーツファーマシストや禁煙指導などが考えられます。第五次薬物乱用防止五か年戦略として、青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止活動を行っております。

学校で開催する薬物乱用防止教室では、全体の約3割が学校薬剤師に依頼され講演を行っております。近年はインターネットの普及により、中学生や高校生の大麻事犯検挙者が増えております。

次に、不注意で禁止された医薬品等を服用してしまう「うっかりドーピング」について、最近では医薬品(胃薬)に禁止薬物が混入して回収になっております。競技会等を目指すアスリートにはより厳しいルールがありますので、うっかりドーピングを防ぐために、自分のかかりつけ薬剤師を決めて薬局で相談することが大切です。

アメリカの一部地域やカナダでは嗜好目的での大麻使用が認められているが、吐き気や頭痛やステイvens・ジョン症候群等の副作用があるため一時的な効果よりも継続して安定した睡眠を取ることの重

要性を説明することが大切です。アメリカでは大麻使用の経験がある高校生の割合が45%(日本は5%)、カナダでは反社会的組織の資金源となっております。その資金源の大幅減少を目的するべく、合法として大麻を政府での管理にしました。

最後に、地域に根ざした薬局・薬剤師となる為に「かかりつけ薬剤師」・「学校薬剤師」・「スポーツファーマシスト」となることで地域住民からの様々な質問に答えられる薬剤師になることが重要という事で講演を締めくくられました。

北垣先生の講演後、千葉県警察より国際テロ未然防止に向けて協力依頼がありました。最近の大きい行事として、G20・ラグビーのワールドカップ・東京オリンピックが日本に開催されるにあたり、世界的なイベントが開催される時に懸念されるのがテロリストによる爆破テロ等です。

国内外の爆弾テロ事件、爆発物製造事件等において、爆発物の原料に使用されたことがある次の11品目は、硫酸・塩酸・過酸化水素・硝酸・塩素酸カリウム・塩素酸ナトリウム・尿素・硝酸アンモニウム・アセトン・ヘキサミン・硝酸カリウムです。これら11品目を安易に販売しない等、管理を徹底する旨の注意喚起がありました。



総会



講師：北垣 邦彦 先生

## 令和元年度事業計画

◇千葉県学校薬剤師会は、会員のために最新・最良の情報の発信を行い、また（公社）日本薬剤師会学薬部会活動に積極的に参加・協力してまいります。

◇県薬誌、ホームページ、啓発物作成の3つのグループを設置し、活動してまいります。

◇県薬誌グループは、千葉県薬剤師会会員への学校薬剤師についての広報活動を行ってまいります。また、本会会員への研修会案内や活動報告、全国大会報告などの情報提供を行ってまいります。

◇ホームページグループは、現在の学校薬剤師会ホームページを更新し、くすり教育や学校環境衛生など学校薬剤師に関わる最新の情報を提供します。また、会員の皆様から寄せられた意見をもとに、より良い情報提供ができるよう改修を行います。

◇資料作成グループは、学校薬剤師活動の円滑な実施のために必要な情報を収集し資料、資材の提供をホームページ及び研修会等にて行ってまいります。

◇学校健康教育の現場に於いて、学校薬剤師の職能は、将来を担う児童生徒等の健康づくりに大きく期待されています。千葉県学校薬剤師会は以下事項を5つの柱とし、会員と共に努力してまいります。①学校環境衛生検査 ②飲酒・喫煙・危険ドラッグを含む薬物乱用防止教室 ③くすり教育 ④給食・食物アレルギー関連 ⑤会員のレベルアップ

### 1. 各支部における学校薬剤師活動の支援と連携強化

- (1) 支部長会議
- (2) 支部研修会等への講師紹介
- (3) 各支部への情報提供（ホームページ・県薬誌）
- (4) 各支部への備品及び器具の貸し出し
- (5) 学校薬剤師講演資料の作成と提供（くすり教育・タバコ・飲酒・薬物乱用防止等）

### 2. 下記研修会等の開催及び情報提供

- (1) 新任学校薬剤師研修会（2019年4月14日）
- (2) 学校薬剤師活動から考えるこれからの薬局ビジョン（2019年6月2日）
- (3) 学校保健講習会並びに薬物乱用防止教室講習会（2019年10月27日）  
（兼 薬物乱用防止教育専門指導員養成フォローアップ講座）
- (4) 学校環境衛生に関する研修会（予定）（2020年2月2日）
- (5) ドーピング防止啓発に関わる活動

3. 県立校部会の活動支援
  - (1) 教室等の環境に係る学校環境衛生検査
    - ア) 揮発性有機化合物検査への指導助言
    - イ) ダニ又はダニアレルゲン検査への指導助言
    - ウ) 二酸化窒素検査の手配及び調整
  - (2) 簡易専用水道管理状況検査の立会
4. 県外の研修会等への受講者派遣及び研修報告
5. 薬学生実務実習受け入れに対する協力と支援
6. 関連諸団体への協力
  - (1) (公社) 日本薬剤師会学薬部会事業への協力 (全国学校保健調査等)
  - (2) (公財) 日本学校保健会及び千葉県学校保健会事業への協力
  - (3) 関係機関が行う公開講座等の後援
  - (4) 千葉県教育庁及び各市町村教育委員会への協力

令和元年度 行事予定

千葉県学校薬剤師会主催

4月14日(日)	新任学校薬剤師研修会	県薬会議室
6月2日(日)	千葉県学校薬剤師会総会及び研修会	県薬会議室
10月27日(日)	学校保健講習会・薬物乱用防止教室講習会	県薬会議室
[令和2年]		
2月2日(日)	千葉県学校薬剤師研修会	県薬会議室

その他の団体主催

8月2日(金)	関東甲信越静学校保健大会	新潟県
10月13日(日)～14日(月・祝)	日本薬剤師会学術大会	山口県
10月17日(木)～18日(金)	学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	佐賀県
11月7日(木)～8日(金)	全国学校給食研究協議大会	岡山県
11月21日(木)～22日(金)	全国学校保健・安全研究大会 全国学校薬剤師大会(22日)	埼玉県